



特定医療法人社団

# 鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス  
<http://www.hovukai.org/>

発行：2012年1月15日  
発行責任者：  
特定医療法人社団 鵬友会  
事務局長 池島 守

## 年頭所感

～今年のテーマは「絆」～

医療法人社団鵬友会

常務理事 池島 守

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、東日本大震災に見舞われ、原発事故による放射能汚染や電力不足といった数々の問題に直面しました。また、ヨーロッパの金融危機に端を発した世界的な経済不安やタイでの洪水被害などの影響も受け、いまだかつてないほどの恐怖や不安を感じた年でありました。

しかし、その一方では被災地の復興に向け立ち上がる現地の方々、それを支えようと全国各地からボランティアの方々が集まっている状況を目の当たりにし、日本人の心の温かさ、繋がりを感じました。また、スポーツ界ではサッカー女子日本代表の皆さんご存知、なでしこジャパンがチーム一丸となって奮闘し、ワールドカップ優勝という快挙を成し遂げるなど、日本全体の「絆」の強さが示された年でもありました。

全体で何かを成し遂げるといふことは、非常に大きなエネルギーが必要で、一人ひとりが互いを思いやり、助け合うことが重要となります。これは医療・福祉の世界にも共通して言えることで、当法人が掲げる“チーム医療”においては、職種を超えた職員同士の「絆」をより強固にして取り組むことは、より良い医療・福祉の提供する上では欠かせないものだと思っております。

また、今年4月には診療報酬・介護報酬の同時改定も控えています。当法人には、急性期一般病院、



療養型病院、認知症専門病院、介護老人保健施設などの施設がありますが、どの施設も、厚生労働省が打ち出しているいわゆる「2025年計画」を見据えながら、コンプライアンスを遵守し、それぞれの特徴を最大限活かすような体制を確立すべく、各施設・各担当者は準備を進めて頂きたいと思っております。

更には、医療の質の向上という観点から、全病院での病院機能評価の取得を目指したいと思いません。法人内で唯一取得している湘南泉病院は来年再受審を迎え、横浜ほうゆう病院は現在準備中であり、新中川病院も目指しているところですが、一言に病院機能評価を取得するといっても、中々容易なことではありません。施設全体で何ヶ月も前から準備を行い、職員一人ひとりが常に意識し、目標に向かって足並みを揃えることが必要となります。

以上のように、皆で大きな目標を達成するためには、その場にいる一人ひとりの力を結集させることが必要不可欠です。施設内はもちろん、法人全体で一致団結、まさに「絆」を深めて邁進していけるよう頑張っていきたいと思います。

# 鵬友会 研修レポート ～第8回 看護科長等合同研修会開催！～



池島 常務理事

平成23年12月17日（土）9時から湘南泉病院4階会議室において、看護科長等合同研修会を行いました。総勢23名が参集した研修会では始めに池島常務理事が講話を行い、来年に迫った診療報酬改定を見据えた各病院ごとのポイントを挙げ、法人内の連携強化に寄与してほしいと科長に対する期待を述べ、続く三浦看護部長は、リーダーの条件や職場のメンタルヘルスの重要性を自らの経験をもとに述べました。



開会挨拶：  
永澤看護統括部長

次に今回“ファーストレベル教育課程”を修了した3人の看護科長からプレゼンテーションが行われました。



松橋 科長

松橋科長は、カリキュラムの概要や自身の看護観を見直すためといった動機について語り、中でも1番印象に残ったという看護管理概説を紹介し、看護管理の原点は、質の高い看護の提供をするために統制を図っていくことで、自らの役割を再認識させられたと述べました。



三浦 看護部長

二人目は、実践での適切な情報の取り扱い方について述べた寺科長。福岡で起こった患者への虐待冤罪事件を事例に挙げ、マスコミの怖さや、受け手まで見据えた情報の伝え方について述べ、情報を正しく判断し、スタッフとの共有の中でアルゴリズム化していける様に人間関係を構築していくことが大切であると強調しました。



原科 科長

最後は原科科長。冒頭に「私は科長業務は出来ていると思っていた」と話し、ナイチンゲールの看護覚え書きを学んでいくにつれ、それはリーダーシップであり看護管理（マネージメント）ではなかったとし、この二つのバランスを大切にしながら、後進の育成に努めていると現在の取り組みを述べました。



寺 科長

研修会の後半のグループワークでは、各人が提出事例をもとに熱心に意見を交わし、充実した研修会は17時に終了しました。



ホームページアドレスが変わりました。

<http://www.hoyukai.org/>

これからも、市民講座のお知らせやニュースレター、その他市民の方に役立つ情報を発信していきたいと思っています。また、鵬友会グループの病院や施設が趣向を凝らした各ホームページにもリンクしていますので、是非チェックしてください！